

礼拝を共にする皆様へ

2020年5月5日

釧路教会牧師

青砥 好夫

教会の主日礼拝に出席されている皆様、いかがお過ごしでしょうか。今回、新型コロナウイルス感染拡大という全く予想もしなかった出来事のために、主日礼拝は3月1日から3月15日までの3回と、4月19日より今のところ5月31日まで休会と致しました。これは、長老役員会にとって大きな決断でした。国の「緊急事態宣言」により、多くの人々が不自由と不安の中に過ごしていること、また多くの制限のために事業を中止せざるを得ない状況などを考え、教会だけが危険を冒してまで礼拝を続けることを断念したのです。

この事は教会の歴史において初めての出来事です。戦時中においても主日礼拝の中止はありませんでした。けれど、今回のコロナウイルスは、世界中に感染が拡大し、全く先の見えない状態です。

神様が「良し」として造られた世界は、今はその神様が造られた世界から発生したウイルスによって苦しんでいます。これは、人間の罪によるものでしょうか、又は、人間の未来に対する神様の深い警告なのでしょう。どちらにしても、私達は、コロナウイルスの感染拡大を通して、ただ困るだけではなく、生きる知恵を見出したいと思うのです。人間は神様から与えられている知恵によって、コロナウイルスの感染拡大を必ず克服して行くでしょう。その時を祈って待ちましょう。

礼拝が出来ないという事は初めての経験ですが、こんなにも寂しく、生活の基盤を見失いがちになるとは思いませんでした。今のところ、6月7日から礼拝を再開する予定にしております。自由に集まり、礼拝に参加出来ることは、大きな恵みであり、感謝です。その時は、喜びと賛美の礼拝を共にささげましょう。そして、私達が生かされている恵みをめいっぱい感じ、体験する日々を過ごしましょう。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが豊かにありますように。